



議会だより



議会だより

Vol.27
2018年3月

平成28年3月31日に閉館となった浦島ハーバーホテルが
「大江戸温泉物語 南紀串本」として4月27日に
リニューアルオープンされます。

9月・12月議会の概要	P1～P4
一般質問	P5～P15
文教厚生常任委員会行政視察報告	P16
総務産業建設常任委員会視察報告	P17
議会の動き・議長公務日誌	P18



【発行】和歌山県串本町議会 〒649-4192 和歌山県東牟婁郡串本町西向359番地
【編集】議会広報特別委員会 串本町役場 古座分庁舎 TEL.0735-72-0001（直通）

第3回定例会（9月）

第3回定例会は、9月6日(水)～15日(金)までの日程で開催されました。上程された案件は、報告2件、人事案件3件、条例案件9件、補正予算案件5件、その他の案件8件の審議が行われました。又、決算認定案件は、決算審査特別委員会で継続して審査する事になりました。



諸報告の主なもの

- 財政の健全化判断比率及び公営企業における資金不足比率について
- 職員採用試験及び勧奨退職者の状況について、一般事務職5名程度、土木技術職1名程度、保育士・幼稚園教諭3名程度、消防職員1名程度の募集、消防を除く定年退職者は技術職員1名、幼稚園教諭3名です。
応募者は、一般事務職40名、保育士・幼稚園教諭3名、消防職員5名の応募。
- 国際交流について、オーストラリアのトレス市から副市長をはじめとする代表団が訪問され、串本木曜島遺族会の方々との懇談や串本まつりに参加された町民との交流が図られました。
- 各観光施設の夏の入り込み状況について、道の駅「くしもと橋杭岩」の7月と8月の売上実績は、対前年比105%と増加、橋杭海水浴場は台風5号の影響で対前年比90.4%となつたが、「海の家」の売上実績は120%と大幅に増加した。
- 各種イベントでは、「ビルフィッシュトーナメントin串本」に36チームの参加がありました。
「熊野水軍古座河内祭のタベ」や「串本まつり」は花火大会等に多くの人出で賑わいました。
「橋杭海水浴まつり」は従来の内容を見直し、「橋杭ビーチサマーフェスタ2017」の開催、8月20日には、大型客船「パシフィックビーナス」の誘致を行い、定期的に串本に寄港をしたいとの報告を受けました。
- 高速道路関連については、工事用道路の一部着手など順次工事が進められる予定、又、消防行政については、仙台市で行われた、第46回全国消防救助技術大会で、東近畿代表として「ほふく救出」の部で出場した串本町消防本部チームが入賞を果たしました。

平成29年度串本町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ6,419万1千円を追加し、予算の総額は101億7,574万4千円となる。
主なもの

温泉管理経費	662万5千円
地籍調査事業	1,192万5千円
戸籍住民基本台帳経費	768万2千円
障がい者自立支援事業	564万1千円
母子保健事業	102万9千円
農地経費・漁港修繕料	260万円
熊野古道大辺路沿いトイレ改修工事	920万円
多目的グランド旧更衣室改修工事	122万1千円
住宅管理経費	573万3千円
消防団員退職報奨金	126万2千円

平成29年度串本町一般会計補正予算（第5号）

町立体育館空調設備冷却水ポンプ取替工事

72万円

○全国森林環境税の創設に関する意見書（案）の提出について

提出者：芝山 賛成者：漆畠、結城 全員一致で賛成

第4回定例会（12月）

第4回定例会は12月6日から15日までの会期で開催されました。提出された案件は、当局より報告件、条例案件9件、補正予算案件4件、その他の案件2件、平成28年度各会計の決算認定、追加議案として、条例案件3件、補正予算案件2件、その他の案件13件、議会から提出案件4件の審議が行われました。議案は次のとおりです。

○議案第125号 平成28年度串本町病院事業会計歳入歳出決算の認定について

(決算審査特別委員長報告の平成28年度串本町病院事業会計歳入歳出決算は不認定に対する討論)

反対：鈴木 公立病院という性格から、不採算部門に係る医療を提供しており、政策的な医療を提供する役割を担っているのが実態であり、一時借入金の処理は不採算部門の負担を少しでも解消するためのものである。地方公営企業法については、今後の検討事項とすることの意見をして不認定に反対。

賛成：清水 法令違反しているのは誰も異論はないと思う。別の合法的な手段で何とかするべきだ。一時借入金の実態は長期借入金になっている。法律は守らなければならない。

反対：結城 法令違反がどの程度のものか病院に確認した。病院では弁護士に確認し、公営企業は経営が苦しくなると一時借入金で資金繰りをして、固定化している部分は借りかえする形でやっていくので、重大な法令違反には当たらず軽微なものであるという説明があった。軽微な法令順守義務を怠ったとしても、この会計を不認定にすることは、医師派遣にも少なからず影響が出てくる。軽微なものであるなら、認定していく筋のものと考える。

賛成：水口 当局は一時借入金を年度、年度で返していくことを理解していないかった。知らなかつたらオッケーというものではない。軽微とか軽微じゃないということでは、町民の理解を得られない。

反対：芝山 委員会では、法令違反をしているので不認定の立場をとったが、その後、専門家等に調べたところ、好ましくない処理であるが、という言葉があって100%違反しているという言葉はなかった。今後きちんと処理がなされることを強く要望し、今回は不認定に反対の立場をとりたい。

賛成：漆畠 一時借入金が3年続けて膨らんできている。この解消方法は何ら示されていない。法に違反しているのであれば、軽微であれ法に抵触することを認めるわけにはいかない。

反対：五十川 委員会では不認定の立場だったが、私の場合は初めてで中身がありにもわかりづらかった。法で事業年度内に償還しなければならない。単純にそこだけで不認定としたが、後々勉強して、色々教えてもらうと事務整備的な問題である。先ほど軽微な形の中身という話もありまして、今回不認定については反対の立場に変えさせていただく。

※採決の結果、賛成少数により、決算は認定することに決定しました。（議長は採決に加わりません）

賛成：水口、川勝、漆畠、清水

反対：島野、結城、五十川、仲江、芝山、佐藤、鈴木、沼谷、長脊、橋爪

○議案第156号 工事請負契約の変更について（文化センター改修工事）

反対：結城 これから庁舎移転、認定こども園など町の将来を左右する大きなプロジェクトを持っている。文化センター改修は必要だが、外壁を吹きつけにすることで経費が100万円でも安くなるなら、少しでも抑えて本当に必要な事業に財源を回すべき。

賛成：仲江 今回の費用の増加額は通常の金額をはるかに超えており問題ないとは言えないが、内容を聞く中で必要かつ妥当な内容と判断する。吹きつけは1回だけを比較すれば安いが、長期的に見れば安くないと説明があった。文化センターが文化水準向上のために、今後も活用されることを期待して賛成する。

※採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決しました。（議長は採決に加わりません）

賛成：水口、島野、五十川、仲江、芝山、佐藤、鈴木、沼谷、長脊、橋爪

反対：結城、川勝、漆畠、清水

一般質問

答弁（総務課長） 串本町に導入してほしい。来年度全国で試験的な運用を5つの市町で試験的である。

5月18日は全国から被災地の串本町に物資を運ぶ。19日は串本から紀伊半島大水害で被害を受けた本宮へ物資を運ぶ。助けたいと、今度は助ける。衛星通信の実証実験を内閣府とQSSが実施し、今回のシステムを来年度5カ所に導入することが発表されました。是非とも串本に誘致すべきである。



質問 防災対策と事前復興
答弁（企画課長） 災害対策本部が中心となる体制を作る。
して、31年度から全国展開を推進と聞いております。

3月18日は全国から被災地の串本で、災害対策チームが行っている民間力をもつて災害復興対策に取り組む。災害復興支援団体として、世界的な緊急救援組織であるINTERATIONAL片岡山に本部を置くBERT（片岡山・隆済代表）、和歌山県（串本・本宮）を会場に11月18日で取り組まれた。和歌山県（串本・本宮）を会場に11月19日で取り組まれた。

質問 駅裏開発と庁舎建設計画頓挫の原因と責任
答弁（町長） 公共施設用地では、宅地ではない。公共用地であるので、宅地を購入するには、先決して有効に活用していくべきである。

26.12.10 西ノ高崎工事実績表(裏)か
用地取得 27年3月～28年6月 未完成
事業組合地元協議 28年3月～28年7月 未実施
造成工事 29年12月～31年3月 未実施
建設委託業務 延長 9ヶ月 病院裏15ヶ月
建設工事 延長12ヶ月 病院裏18ヶ月



水口 崇

○請願第1号 大型共同作業場の廃止撤去を求める請願（串本町里川 発泡スチロール大型共同作業場）

（総務産業建設常任委員長報告の請願は不採択すべきものに対する討論）

反対：仲江 倉庫棟に関しては、同一物件を2つの企業に貸すことになっており、不正常な状態である。平成26年に操業を開始したが、当初の説明と違った悪臭が周囲に流れ出しだけで大きな問題となつた。委員会での反対討論は、おおいに改善されている。廃止しなくてよいとの内容であったが、そういう問題ではなく、本来の趣旨から外れている。町が十分な管理を行わないので近所に迷惑をかけてきたことに対する不信感から出された請願である。そのことを踏まえ不採択には反対。

賛成：清水 仲江議員の言われたことはもっともなことだと思うが、請願の内容は工場を撤去せよという請願である。工場は残しておいたほうがいいと思うので賛成。

※採決の結果、賛成多数により、不採択とすることに決定しました。（議長は採決に加わりません）

賛成：水口、島野、川勝、五十川、漆畠、芝山、清水、佐藤、鈴木、沼谷、橋爪

反対：結城、仲江

（欠席：長脊）

○発議第10号 串本町新庁舎の建設位置に関する住民投票条例の制定について

（新庁舎の位置を「くしもと町立病院裏」、「サンゴ台テニスコート」、「現本庁舎敷地」から選択し、住民投票を行うもの。提出者：水口、賛成者：川勝、漆畠、清水）

反対：結城 この条例は本当に民意をくみ上げるかというより、裏には事業を邪魔したいという意図が感じられる。メリット・デメリットをきっちり説明したうえで投票してもらうには時間がかかる。この条例を制定して、庁舎移転が遅くなることを非常に危惧する。

賛成：漆畠 庁舎建設は60年に1回の大きな事業で、議会においても3分の2以上の賛成を必要とする重要な案件である。庁舎建設を知らない住民も多く、議会に全てを委任したわけではないという声も多々聞いたことがある。住民投票が行われることで直近の民意が反映されると信じている。

反対：鈴木 今まで議会の総合開発特別委員会でも審議されてきた基本構想に基づいた建設をすべき。財政的にも条件がそろっており、立地可能な適地が存在している。この時期を逃したら庁舎建設は望めないし、町の発展はないといつても過言ではない。この条例は今までの議会の審議を否定するものであり、責任の転嫁だと考える。

賛成：川勝 予定していた造成地について、国土交通省との整備の関係もあり、変更せざるを得ない時期を迎えた。従来から町民の願いや問題を抱えた点で、今のテニスコートを活用して生かすことが最善だと思うので、強く賛成する。

反対：芝山 この条例に果たして何名の方が興味をもってくれて、何名が投票に応じるか未知数であり、機運がそこまで住民投票に傾いているのか、住民の機運が確認できないまま条例制定することは反対。

賛成：清水 二元代表制という言葉があるが、全て町長と議会だけで決めていいということではないはず。庁舎移転を知らない町民が多い。庁舎の位置を決めるという60年に1回の大きな事業であるから、住民の声を聞くことはいいことだと思う。

反対：仲江 住民投票で決めるほどのことではないと判断する。町長が最近提案した駅裏から病院裏に変更ということに関しては、旧古座町民にとってすごく便利になる。今までの駅裏よりむしろ好ましいと判断する。現計画がとんでもないことないように、一刻も早い計画を進めていただきたい。

※採決の結果、賛成少数により、否決されました。（議長は採決に加わりません）

賛成：水口、川勝、漆畠、清水

反対：島野、結城、五十川、仲江、芝山、佐藤、鈴木、沼谷、橋爪

（欠席：長脊）

一般質問

一般質問



五十川清紀

☆第3回9月定例会一般質問
私は、住民の潤いは、何と
してでも町の経済が強くなら
なければと思っています。ま
た、住民の不安等3項目につ
き質問しました。

①観光開発の推進（経済対策）
②医療の充実（くしもと町立
病院改革）
③鳥獣被害について

質問 観光開発について

答弁（町長）高速道路は命の
道でもある、また地域の疲弊
を見る中で高速道路の必要性
について陳情を重ねてきた。
高速道路に起因した部分で

増という変化を、町のビジネス
スチヤンスと捉え10年先を見
据えた観光開発が急務である。
町長の観光行政について聞き
たい。

質問 観光開発について

答弁（産業課長）古座、串本
観光協会の一元化について平
成17年に二つの町が合併した。
その中で二つの観光協会が合
併できずいたが、高速道路
の延伸も含めいい風が吹いて
きている状況であり、速やか
に新しい組織に一元化できる
よう取組を進めたい。

質問 医療充実について

答弁（産業課長）少子高齢化問題もしかり、
日本夜景遺産に登録され評判。
用地購入状況。購入目的変
更と課題、購入地今後の処理。
の事情を報告する説明会を開
く予定。

質問 災害対応事前復興計画
については、サンゴ台役場建
設予定地のみ対象ではない、
町内全域を対象にした、計画
も予定。

質問 災害対応事前復興計画
については、サンゴ台役場建
設予定地のみ対象ではない、
町内全域を対象にした、計画
も予定。

質問 防災訓練参加率18%②個
別受信機の設置47%③南海ト
ラフ巨大地震④地震後の水道
復旧⑤学校防災教育。①と②
は津波から「逃げ切る」最も



川勝昇

△高速道路の取組状況
当初計画と実施計画
答弁（建設課長）ルート変更
なし、作業道は地区、地権者の
協力で進展、橋杭くじの川地
区はインターとの関連で整備。
△町道橋りょう整備
質問 整備率向上対策 出雲
く塔石間道路整備用地協力状
況、有田薬師橋対策、出雲牧
崎線路面補修。

△観光資源の整備促進
質問 通夜島・高塚の森・空
母信濃沈没非運の歴史等、觀
光串本の資源を活かすこと。
答弁（産業課長）資源や歴史

大江戸温泉物語、また今後ホ
テル誘致の展望、小型ロケッ
ト射場誘致の報道もあり、經
済効果を目指す中で県と共に
取り組んでいく。串本町にビ
ッグなチャンスと思っている。
質問 観光開発推進として、
しつかりとした組織（官民一
体型）が必要である。古座、串
本を一元化することで面と
した観光活動の推進ができ、
観光協会を中心とした組織構
築（法人化の推進）が必要。
また、このことが雇用の創出、
過疎地での若者の雇用、定住
促進、（過疎化対策）に繋がり、
地方創生、町おこしの一環で
もある。

質問 病院事務長）複数の患
者さんが重なった場合は医師
の判断で重症度を診て頂き判
断している。（トリアージ）救
急車で来られても後回しにな
ることもご理解頂きたい。小
児科医は常勤一名、近畿大学
医学部小児科と協議中であり
充実させていく。

質問 鳥獣被害について
答弁（産業課長）鳥獣被害につ
いては、サル、シカ、イノシシ、シ
カ等の被害が多発している。
町の対策として保護、防護の
面から強化していく。

質問 防災訓練参加率18%②個
別受信機の設置47%③南海ト
ラフ巨大地震④地震後の水道
復旧⑤学校防災教育。①と②
は津波から「逃げ切る」最も

大事なことだが数値が低い。
危機意識が低下？パニック状
態時、町（対策本部）との連
絡網交信訓練必要。また水道
管破裂による復旧策、材料品
購入先との対応、津波で水源
地取水口から海水は防げるの
か。

質問 防災啓蒙策等強めていく。
答弁（総務課長）避難訓練の
参加者は低い、個別受診機は
各自の事情等もある。防災グ
ループもより知恵を出し合い
協定を締結している。

△空き家対策
質問 空き家対策の取組み。
答弁（住民課長）調査結果危
険家屋123戸昨年調査14戸
増内危険家屋6戸1戸解体。
今後123戸の危険家屋中避
難路沿い42戸は総務課建設課
住民課で対応計画。

△震災津波発生の場合協
力可能状況は。
質問 空き家対策の取組み。
答弁（住民課長）調査結果危
険家屋123戸昨年調査14戸
増内危険家屋6戸1戸解体。
今後123戸の危険家屋中避
難路沿い42戸は総務課建設課
住民課で対応計画。

△稻村台地町有地活用計画
質問 稲村台地町有地には経
過の経過事情もある。町長の
企業立地課の着目構想等々
の企業立地課の着目構想等々
は具体的な展開を求め期待に
応える成果を目指してほしい。
質問 稲村台地町有地活用計
画も考え今後対応方検討。
△橋杭公園整備促進方
質問 橋杭地区の道路整備進
展している橋杭公園も益々評
価されている更なる整備のた
めにも、駐車場入口に当る旧
橋杭漁協事務所、隣接民家の
協力要請を再三に亘り強調し
てきたが進展しているか。

△教育振興対策
質問 教育施設整備、全国学
力テスト結果と学力向上対策
答弁（教育長）図書館、文化
センター整備促進等総合教育
会議で協議促進する考え。學
力テスト結果を分析し学力ア
ップに努める。各学校に適し
た取組み、家庭学習等各学校
で分析対策に取り組みたい。

△町長）予定する各地区
町政報告会でも報告し町民協
力を求めていきたい。

の取り組み推進をすべきであ
る。町政報告会でも報告し町民協
力を求めていきたい。

△橋杭公園整備促進方
質問 橋杭地区の道路整備進
展している橋杭公園も益々評
価されている更なる整備のた
めにも、駐車場入口に当る旧
橋杭漁協事務所、隣接民家の
協力要請を再三に亘り強調し
てきたが進展しているか。

△空き家対策
質問 空き家について、安心
できる街づくり条件に添うよ
う取り組みされたい。

△稻村台地町有地活用計
画も考え今後対応方検討。

△橋杭公園整備促進方
質問 橋杭地区の道路整備進
展している橋杭公園も益々評
価されている更なる整備のた
めにも、駐車場入口に当る旧
橋杭漁協事務所、隣接民家の
協力要請を再三に亘り強調し
てきたが進展しているか。

△教育振興対策
質問 教育施設整備、全国学
力テスト結果と学力向上対策
答弁（教育長）図書館、文化
センター整備促進等総合教育
会議で協議促進する考え。學
力テスト結果を分析し学力ア
ップに努める。各学校に適し
た取組み、家庭学習等各学校
で分析対策に取り組みたい。

一般質問

一般質問

質問 駅裏開発の公共用地、
府舎、保育園、串本小学校建設の用地先行取得についての
権利負担行為として認めたが、府舎建設が事情により他に建設しなければならなくなつた。議決とは条件が違つてきているが法的に問題がないのか？

申本町の跡

学校教育で串本町の遺跡についてどのように教えてい

質問 駅裏開発の公共用地、
府舎、保育園、串本小学校建設の用地先行取得についての
権利負担行為として認めたが、府舎建設が事情により他に建設しなければならなくなつた。議決とは条件が違つてきているが法的に問題がないのか？

答弁 公共用地で申請を出しているので変更は可能と思われる。法的に問題はない。

質問 新府舎建設の3事業を実行した場合の事業費、財政、小学校、保育園の将来的な児童生徒数等の審議する為の資料の提出がなければ賛否の判断ができない。

答弁 (企画課長) 正式に議会に出してい

ない。

質問 仲江孝丸 9月議会



仲江孝丸

質問 新府舎建設合併特例債の期限まで3年余り、事業の進捗状況と今後の工事予定は。

答弁 (総務課長) 平成30年度設計、平成32年度完成になるよう取り組む。

質問 共産党串本町委員会は府舎建設に関する住民アンケートを実施し、220通の返信が寄せられた。回答者のうち3分の1が府舎の高台移転構想が決まつたことを知らないと答えている。正確・丁寧な広報活動が必要。

答弁 (町長) 結果を聞いて、構想が決まつたことを知らないと答えてい。正確・丁寧な広報活動が必要。

質問 ディーバスの運行から支所の配置について、細かく地域を回つて説明し、理解を頂いて進めていきたい。

答弁 (町長) 同和対策事業で行つた投石事業の不手際で、県と運動団体との話合いの中で、磯根回復に向けた事業を整つた。

質問 磯根再生事業の実施主体は町である。16年間で4,365万円もの公金を入れてきて、成果が表れない責任は町にある。

答弁 (副町長) 町の責任は当

質問 磯根再生事業の町委託事業で、この事業が始まつたのは旧串本町で平成13年。いきさつは。

答弁 (副町長) 同和対策事業では、「県の要請があれば実施していく」という回答をしてくるが、次回の交渉ではこの指摘を運動団体にも伝えて行く。

質問 12月議会



12月議会

答弁 (磯根再生事業の町委託事業) ジオパーク再認定にむけて

質問 外国人旅行客の受け入れ

答弁 (磯根再生事業の町委託事業) では、JR伊豆半島が訪れるべき

質問 紀伊半島が訪れるべき

答弁 (磯根再生事業の町委託事業) が、来年は再認定の年だ。今年審査が行われた山陰海岸世界ジオパークも阿蘇世界ジオパーク条件付きの再認定となつた。

質問 外国人旅行客の受け入れ

答弁 (磯根再生事業の町委託事業) では、「県の要請があれば実施していく」という回答をしてくるが、次回の交渉ではこの指摘を運動団体にも伝えて行く。

81・8%の目標に対し70・5%であった。28年度はどこが悪かったのか。

質問 一時借入金が年度末に返済されず、2億、3億5,000万と年々増えづける傾向にあり、不良債権も発生している。一般会計から繰出して健全会計にし、きちんと経営をしていく計画書をコンサルも交えて作成すべきではないか。

数が6,700人減である。

国保会計が7,000万黒字が出た。医療機関にかかる方が少なくなった。

質問 図書館の現状と将来計画

答弁 (教育課副課長) 図書館

の責任が明記されているが、従前の館長は教育課長の兼務で、図書館奉仕に十分取組めていなかつたため。

質問 外国人旅行客の受け入れ

答弁 (産業課長) 平成27年度より補助制度を使い看板整備をしてきており、観光地の施設への外国語対応の職員配置や自動翻訳機の設置などが必要。

質問 外国人旅行客の受け入れ

答弁 (産業課長) 平成27年度より補助制度を使い看板整備をしてきており、観光地の施設への外国語対応の職員配置や自動翻訳機の設置などが必要。

質問 外国人旅行客の受け入れ

答弁 (産業課長) 平成27年度より補助制度を使い看板整備をしてきており、観光地の施設への外国語対応の職員配置や自動翻訳機の設置などが必要。

質問 外国人旅行客の受け入れ

数が6,700人減である。

国保会計が7,000万黒字が出た。医療機関にかかる方が少なくなった。

質問 府舎、保育園、小学校の3事業を実行した場合の事業費、財政、小学校、保育園の将来的な児童生徒数等の審議する為の資料の提出がなければ賛否の判断ができる。

答弁 (企画課長) 全体像が出されていない。

質問 府舎、保育園、小学校の3事業を実行した場合の事業費、財政、小学校、保育園の将来的な児童生徒数等の審議する為の資料の提出がなければ賛否の判断ができる。

答弁 (企画課長) 全体像が出されていない。

質問 漆畠繁生



漆畠繁生

質問 2030年出生数約50人、2040年出生数約40人になると予測されており、大島中の廃校が決まり、又、田雲小学校20名、今後生徒数の原小学校も生徒数が12名、出雲小学校20名、今後生徒数の確保は困難になるのは確実です。建設をいそがず、今ある施設を有効利用しながら、しかしかるべき時に統廃合すべきではないか。

答弁 (町長) 議員とは議論が平行線である。

質問 平成28年病床利用率

答弁 (町長) 2030年出生数約50人、2040年出生数約40人になると予測されており、大島中の廃校が決まり、又、田雲小学校20名、今後生徒数の原小学校も生徒数が12名、出雲小学校20名、今後生徒数の確保は困難になるのは確実です。建設をいそがず、今ある施設を有効利用しながら、しかしかるべき時に統廃合すべきではないか。

質問 平成28年病床利用率

答弁 (町長) 2030年出生数約50人、2040年出生数約40人になると予測されており、大島中の廃校が決まり、又、田雲小学校20名、今後生徒数の原小学校も生徒数が12名、出雲小学校20名、今後生徒数の確保は困難になるのは確実です。建設をいそがず、今ある施設を有効利用しながら、しかしかるべき時に統廃合すべきではないか。

質問 一時借入金が年度末に返済されず、2億、3億5,000万と年々増えづける傾向にあり、不良債権も発生している。一般会計から繰出して健全会計にし、きちんと経営をしていく計画書をコンサルも交えて作成すべきではないか。

質問 一時借入金が年度末に返済されず、2億、3億5,000万と年々増えづける傾向にあり、不良債権も発生している。一般会計から繰出して健全会計にし、きちんと経営をしていく計画書をコンサルも交えて作成すべきではないか。

数が6,700人減である。

国保会計が7,000万黒字が出た。医療機関にかかる方が少なくなった。

一般質問

一般質問



清水健太郎

質問 人口減から発生する課題と取組み姿勢は？
答弁 (町長) 全国的に見て人口減は仕方ないが、串本は高速道路の南進、大江戸温泉、ロケット発射地の誘致等、好機の風が吹いていると考へる。豊かな町づくりを目指したい。

質問 口減は仕方ないが、串本は高齢化対策は？
答弁 (副町長) (住民課長) 他の自治体との比較で劣らぬ様、串本独自で採用している。15歳(義務教育就学児)までの医療費無償化も取組みの一環である。

質問 くしもと町立病院の夜間医療体制(小児科)は？
答弁 (病院事務長) 常勤小児科医師は1名です。1名での

質問 今のは議会は当局と議員だけでもかも決定していく。住民が市政に参加していない。住民に対して議題も資料もなく、住民は議会で何を決めるのか知らない。当局と議員だけで決めた後、こう決まりましたと報告するだけでは住民はとても市政に参加しているとは言えない。議会前に予算書等をインターネット等に公開し、回覧してはどうか？
答弁 (町長) 予算等は町広報に載せている。
質問 町広報には概略的なものしか出てない。予算書等を出せば、もっと深いところでわかる。税金を使って町政を行っているわけですから、予算書等は出すのが当たり前では？
答弁 (町長) 予算書等は複雑だから町民にそれを出すと混乱を起こす可能性がある。

質問 町民に分かるように説明資料等をつけて公開すべきです。
答弁 (企画課長) インターネット公開は簡単ですが、内容について検討します。

質問 今日は清水議員の意見を承りましたが、議会全体としての意見も聞きたいため、予算書等は閲覧できるのを公開について、結果はどうなりましたか？
答弁 (町長) 私は議会全体としての意見も聞きたいと言いましたけど、公開しますとは言つてません。

質問 企画課長は前向きに検討すると答弁されました。町長と課長の答弁はまた別ということですか？

質問 前向きに検討しました結果、議会改革の方で検討してほしいと提案した。

答弁 (副町長) 前向きに検討してほしいと提案した。

質問 インターネットを見ると予算書等は全部財政課が出している。議会は関係ありません。予算書等は全部財政課が出しているのでそこまで決めてほしい。

答弁 (町長) 今慌てて出すべきではない。議会改革が進んでいない。巨大地震(過去数千年間記録のない地震)です。

質問 どのような津波が発生しますか？

答弁 (総務課長) 3連動地震(100年周期)と南海トラフ巨大地震(過去数千年間記録のない地震)です。

質問 南海トラフ巨大地震は最短3分と言われていますが、第1波が30分で来ることもあると思います。

答弁 (総務課長) 本当に津波到達まで30分あるのかどうか分からぬので、議員の言わっていいますか？

質問 例え30分の場合、高台から下に降りて逃げられない人を救うことでもできると思います。その辺のシミュレーションはしていますか？

答弁 (総務課長) 本当に津波到達まで30分あるのかどうか分からぬので、議員の言わっていいますか？

質問 これは非常に難しい。
3連動地震の第1波の一番大きい波が16分の想定ですが、県大

質問 町民には自分たちが逃げられるにはまだ十分ではないから府舎の高台移転なんか後回しにするべきという意見も多いことを伝えておきます。



芝山定史

一、「喫緊の課題を聞く」9月議会 (抜粋)
質問 人口減から発生する課題と取組み姿勢は？
答弁 (町長) 全国的に見て人口減は仕方ないが、串本は高速道路の南進、大江戸温泉、ロケット発射地の誘致等、好機の風が吹いていると考へる。豊かな町づくりを目指したい。

質問 少子高齢化対策は？
答弁 (副町長) (住民課長) 他の自治体との比較で劣らぬ様、串本独自で採用している。15歳(義務教育就学児)までの医療費無償化も取組みの一環である。

質問 くしもと町立病院の夜間医療体制(小児科)は？
答弁 (病院事務長) 常勤小児科医師は1名です。1名での

質問 空き家対策について早急な取組の必要性を問う。
答弁 (住民課長) 空き家も危険家屋も増加しているあるいは、進行していると把握している。早急な取組みが必要である。早急な取組みが必要であると思う。

質問 古民家の再利用、古民家バンク登録への呼びかけ等懸命な取組みを進めているところです。
答弁 (産業課長) 古民家の再利用、古民家バンク登録への呼びかけ等懸命な取組みを進めているところです。

二、「行政視察から学力向上について」

質問 学力向上の為、家庭学習の重要性と地域との連携を問う。
答弁 (教育課副課長) 明確に商品、他の地方に負けない商品の開発に取り組んでいる人がいましたら、話を聞かせて頂き行政として何ができるか速急に取り組みたい。(起業者にも同様の考え方である。)

質問 空き家対策について早急な取組の必要性を問う。
答弁 (産業課長) 平成28年3月に空き家対策基本計画後空き家数が増加しているがその認識は？

質問 新社会への対応は？ペルールは？
答弁 (教育長) 学力テストの結果を検討し、学校、保護者、地域の人達と連携し、連携事項を話し合い教育委員会としての立場から取組むべき事を取組んでいきたい。

質問 新社会への対応は？ペルールは？
答弁 (企画課長) タブレットの導入は、経費の節減によるので、諸問題を検討しながら取り組んでいく。

質問 新社会への対応は？ペルールは？
答弁 (町長) ドローンは最近役場でも、1台購入しました。串本のPR資料作成に重宝している。災害協定を含め今後



ドローンの検討を進めたい。

質問 指定管理施設(橋杭道駅等)の役割を明確に。(契約時に串本町の考え方を伝えにくく。)

質問 農業、漁業等1次産業支援への取組みは？
答弁 (産業課長) 串本町に貢献している従事者との協力体制の強化で、充実する様取り組んでいく。

質問 串本町学生の学力レベルは？
答弁 (教育課副課長) 明確に回答できないが、和歌山県の中学校は、全国総合28位、小学校は23位です。串本町は中学校では、全国や県の平均を上回るが、小学校で下回る結果です。

質問 串本町の対応は？ペルールは？
答弁 (産業課長) 契約相手に連絡を入れて、契約期限5年を延長する事も検討している。

一般質問

一般質問

9月議会一般質問
防災対策について

くしもと町立病院について
質問 文教厚生常任委員会として城北病院に行つきました。笑つて死ねる病院としてテレビでも紹介されています。患者の気持ちになつて、で起きるだけ願いをかなえてあげるという考え方を持つ病院です。

答弁 (病院事務長) 私も随行させていただきました。城北病院の医師や看護師の患者に対する気持ちや心遣い、接し方はくしもと町立病院に生かせると考えますが。

答弁 (総務課長) 現在事前復興の関係のシステムといううではありません。

くしもと町立病院について
質問 文教厚生常任委員会として城北病院に行つきました。笑つて死ねる病院としてテレビでも紹介されています。患者の気持ちになつて、で起きるだけ願いをかなえてあげるという考え方を持つ病院です。

答弁 (病院事務長) 私も随行させていただきました。城北病院の医師や看護師の患者に対する気持ちや心遣い、接し方はくしもと町立病院に生かせると考えますが。

答弁 (総務課長) 現在事前復興の関係のシステムといふります。



島野 靖

訓練については、樺野地区で実施。串本・古座川官公署等連絡協議会合同訓練、大島小・中学校・大島・樺野・須江の3地区合同訓練、潮岬小・中学校・幼稚園・潮岬地区的合同訓練実施。今後、緊急物資輸送訓練での避難所開設・運営訓練実施を計画。夜間訓練については、今年度未定である。

訓練については、避難所開設と夜間訓練について

避難所開設運営訓練と夜間訓練については、避難所開設と夜間訓練について



長脊 守

じている中、避難困難地域の解消ができない場合には、避難タワーの建設も含め今後検討。

12月議会一般質問
防災対策について
質問 公共施設高台移転について

質問 災害時の備蓄品について

想定。町では2割増の10,560人分の備蓄予定・食糧について、避難者1人1日3食として、31,700人で飲料水は、1人1日3リットルの51,100リットルを5年計画で確保を計画。現在、食糧については、49%・飲料水は、79・7%確保。

想定。町では2割増の10,560人分の備蓄予定・食糧について、避難者1人1日3食として、31,700人で飲料水は、1人1日3リットルの51,100リットルを5年計画で確保を計画。現在、食糧については、49%・飲料水は、79・7%確保。

では、看護師さんの対応が常に良くなつたことや、診察の待ち時間を短縮の意見があり。が、東牟婁医師会と協議しながら来年開設予定の那智勝浦町立温泉病院と連携し、休日初期救急医療体制を構築予定。

質問 町民グラウンドの整備について

質問 駅裏開発の造成地から、サンゴ台の病院奥の跡地に建設予定地変更。駅裏開発用地は、庁舎建設予定地から災害時の応急仮設住宅建設予定。災害指定避難場所は、学校のグラウンド等含め他13カ所予定。

消防計画の風水害等防災計画に基づき実施。また、消防本部と11分団の分団長と連携し、異常等あれば素早く状況報告し対策を講じる。田原川、闘野川、古座橋の3カ所に水位計設置他の川については、今後県と協議し検討される。

消防計画の風水害等防災計画に基づき実施。また、消防本部と11分団の分団長と連携し、異常等あれば素早く状況報告し対策を講じる。田原川、闘野川、古座橋の3カ所に水位計設置他の川については、今後県と協議し検討される。

質問 夜間照明について

質問 普通救命講習と避難所にAEDの設置

○簡易トイレの設置と凝固剤計画

○防災活動等のドローン導入計画

○駅裏開発と役場移転後、跡地利用について尋ねる。

質問 くしもと町立病院の意見箱と休日診療について

質問 道の駅は観光客を呼べる施設ですが、5月の連休や年末年始は駐車場不足で国道まであふれている状態。漁協との鑑定評価をしてもらい、用地費の算出をしているところ。撤去費、整備費等で多額になりますため、国の補助金対象にならないか調査中。

質問 オープンから4年が経過しますが利用者数はどうなったため、開設当初は週に1件～2件あつたが最近は月に1件～2件に減少。最近

質問 駅施設では駐車場も含めて対応できないと考えるが、新たな施設等の考えは持っていますか。

質問 今後検討。

質問 町民グラウンド周辺の整備については、使用者の危険があれば現地確認の上、対応。

質問 今後検討。

質問 ○高速道路と避難路整備

○国土強靭化計画と津波避難困難地域解消について尋ねる。

質問 1チエンジ付近に建設してはどうかという声は聞く、課長として希望はあるが、大きな財政負担を伴うので、町当局に相談、御意見を頂きたい。

質問 現在の指定管理者との契約を更新時には内容を見直すことは考えていないのか。

質問 月末で期限がくる。住民、利害者からいろんな声を頂いていますので、次の契約内容に反映していきたい。また、使用者の算出をしているところ。撤去費、整備費等で多額になりますため、開設当初は週に1件～2件あつたが最近は月に1件～2件に減少。最近

質問 高速道路延伸、大江戸温泉物語等明るい材料があるが、他に地域活性化の為に取り組んでいる事業があれば教えてほしい。

質問 温泉物語等明るい材料があるが、他に地域活性化の為に取り組んでいる事業があらかじめ組みますし、早稲田大学連携した事業も考えている。

くしもと町立病院による地域経済の活性化
質問 道の駅は観光客を呼べる施設ですが、5月の連休や年末年始は駐車場不足で国道まであふれている状態。漁協との鑑定評価をしてもらい、用地費の算出をしているところ。撤去費、整備費等で多額になりますため、開設当初は週に1件～2件あつたが最近は月に1件～2件に減少。最近

質問 1チエンジ付近に建設してはどうかという声は聞く、課長として希望はあるが、大きな財政負担を伴うので、町当局に相談、御意見を頂きたい。

質問 現在の指定管理者との契約を更新時には内容を見直すことは考えていないのか。

質問 月末で期限がくる。住民、利害者からいろんな声を頂いていますので、次の契約内容に反映していきたい。また、使用者の算出をしているところ。撤去費、整備費等で多額になりますため、開設当初は週に1件～2件あつたが最近は月に1件～2件に減少。最近

質問 高速道路延伸、大江戸温泉物語等明るい材料があるが、他に地域活性化の為に取り組んでいる事業があらかじめ組みますし、早稲田大学連携した事業も考えている。

一般質問

一般質問



橋爪和雄

質問 防災について
自然災害等による避難路の崩壊、草刈などの管理作業に対し、の管理が難しくなってきていることについて。

答弁 (総務課長) 地区からの要望を受けて、町のほうで検討して整備をしている。地域で対応が困難な箇所については相談しながら対応をしてい。基本的には各地域での管理である。

質問 避難路は後の管理がやすい設計をしていただきたい。
徒步での避難が困難な人が増えていて。自動車での避難について。

質問 高速道路沿いに一時難所、支援拠点場所として住民を避難させるための緊急避難所の実現について。

答弁 (総務課長) 今計画している高速道路の建設道路につきましては車道の幅を広くとする対策ができると思う。



質問 防災について
自然災害等による避難路の崩壊、草刈などの管理作業に対し、の管理が難しくなってきていることについて。

答弁 (総務課長) 地区からの要望を受けて、町のほうで検討して整備をしている。地域で対応が困難な箇所については相談しながら対応をしてい。基本的には各地域での管理である。

質問 避難路は後の管理がやすい設計をしていただきたい。
徒步での避難が困難な人が増えていて。自動車での避難について。

質問 高速道路沿いに一時難所、支援拠点場所として住民を避難させるための緊急避難所の実現について。

答弁 (総務課長) 今計画している高速道路の建設道路につきましては車道の幅を広くとする対策ができると思う。

緊急災害対策チーム BERT...International
(岡山県本部・片山敬済代表)
青少年の家の防災訓練

串本地区と潮岬地区を結ぶ県道潮岬周遊線(馬坂)の安全性について。

答弁 (建設課長) 擁壁とか耐震に対する大規模な改修計画があれば、できる限り地震時に耐えられるよう構造にしてはできる限り残したいと考えています。

質問 串本地区と潮岬地区を結ぶ県道潮岬周遊線(馬坂)の安全性について。

答弁 (建設課長) 擁壁とか耐震に対する大規模な改修計画があれば、できる限り地震時に耐えられるよう構造にしてはできる限り残したいと考えています。

質問 ○町道右東谷津荷線道路の早急な改善について。

答弁 (建設課長) ○備蓄品の見直しについて。

質問 ○商店街の活性化について。

答弁 (建設課長) ○空き店舗の活用について。

質問 ○町が使う備品等の仕入れ状況について。

答弁 (建設課長) 他に○町道右東谷津荷線道路の早急な改善について。

質問 ○戸別受信機の普及率向上について。

答弁 (建設課長) ○備蓄品の見直しについて。

質問 ○空き店舗の活用について。

答弁 (建設課長) ○町が使う備品等の仕入れ状況について。

質問 ドローン空撮映像

ドローン空撮映像

災害支援ボランティアが全国から和歌山県(串本町、田辺市本宮)に集合

質問 総務産業建設常任委員会の視察先(久万高原町、瀬戸内海水産研究所、篠山市)は、人の熱意を感じられた。今後本町の取り組みは?

答弁 (産業課長) 人の存在は、大事になる。人の思いをどのようにコーディネートしていくのか、行政の役割と考えている。

総合戦略から「安定した雇用の場の創出」

質問 第一次産業の後継者が不足が深刻な問題といわれている。新たな取り組みを示すことで課題の解消につながるのではないか。(国で導入検討されている森林環境税、又他地域では陸上における養殖事業)具体的に検討してはどうか。

答弁 (産業課長) 各関係者、関係機関と情報を共有しながら連携をとつていただきたい。



鈴木幸夫

質問 空き家の除却支援について。

答弁 (産業課長) 補助制度については県内で13市町村が実施。補助金の限度額30万円から80万円。補助率が2分の1から5分の4。新宮市が来年度から実施。町としても今後検討する。

サンゴ台中央線新設にかかる沿線の開発

質問 役場庁舎の機能として、行政事務を行う以外に、防災、災害時の拠点施設、他住民の集う施設としての機能が求められている。庁舎建設についての考え方は?

答弁 (総務課長) 地震、津波など災害発生時の中枢管理機能を果たす拠点として考えている。

質問 造成地の活用として企業誘致の用地として確保の考えは?

答弁 (町長) 現在は、造成地に企業誘致は考えていない。

質問 町長は障がい児者に対し格段の理解を示され、未就学前の児童施設の開設、又、認定子ども園、小・中学校においても支援員の配置をされていて父兄の方たちに大変喜ばれています。そこでペアレント・メンターを取り組んで頂けましたら、より一層充実された支援対策になると思います。

答弁 (町長) 県の動き等を課長に調べるように指示して、今後これがこの地域において



沼谷美次

質問 やつていいか検証していく聽覚障がいは、早期に発見されればと思っていました。新生児の聴覚検査について

答弁 (福祉課長) 生まれてぐの赤ちゃんは言葉が話せないため耳の聞こえはコンピューターに出る反応によって調べています。その際痛みはないか。赤ちゃんでも軽減できるように考えていただくわけにはいかないか。

質問 発達障がい支援にペアレント・メンターは、発達障がいの子どもを育てた経験のある保護者等で同じような発達障がいの診断を受けた子どもを持つ保護者に対し、自身の子育ての経験から相談に応じたり情報を探したりする親による親のための相談者であります。

答弁 (福祉課長) ペアレント・メンターは、発達障がいの子ども園、小・中学校においても支援員の配置をされていて父兄の方たちに大変喜ばれてています。そこでペアレント・メンターを取り組んで頂けましたら、より一層充実された支援対策になると思います。

質問 町長は障がい児者に対し格段の理解を示され、未就学前の児童施設の開設、又、認定子ども園、小・中学校においても支援員の配置をされていて父兄の方たちに大変喜ばれています。そこでペアレント・メンターを取り組んで頂けましたら、より一層充実された支援対策になると思います。

答弁 (町長) 今、課長の説明を受けて一定の理解をしたところです。十分父兄の皆さん方の聞き取り始め、今後の対応を考えていきたいと思います。

総務産業建設常任委員会 県外行政視察

参加者

漆畠委員長、沼谷副委員長、五十川委員、佐藤委員、鈴木委員、
橋爪委員、濱地産業課長、木下議会事務局長



平成29年11月14日から16日の3日間、総務産業建設常任委員会の県外視察を行なった。

初日は愛媛県久万高原町の久万森林組合の取組みを視察。

同森林組合は平成10年4月1日に5力町村の森林組合が合併、森林52,495ha、人工林面積36,036ha。

事業内容は原木市場、杉ま柱製材工場、集成材工場、年間原木63,000m³を加工、杉、檜の柱物中心の製材年間14,000m³の加工場を運営しており、成長の要因として愛媛県による林業政策のバックアップ、町内3つの原木市場と大規模製材施設の存在などをあげている。

又、課題、問題として森林所有者の高齢化に伴う経営意欲の減退、収益の減少。

原木市場では、原木価格の安定、安定入荷、販売の方法の改善など多くの課題と林業経営の厳しさを指摘していた。

2日目は同県今治市伯方町の瀬戸内海区水産研究所に放流に適した魚種の視察を行なった。

ここでは、オニオコゼの背ビレを抜いての放流、又、タグを付けて放流を行ない、漁業者に放流魚が獲れた時連絡がはいる仕組みを作り、追跡調査を行なった結果、放流魚として有望であるとのことでした。

特に藻場の生えている所が天敵に捕食されにくく、適地であるとの結果報告がされていました。

今後、串本町の漁業において漁獲高の安定、所得の安定の為にオコゼ放流を行う必要があると思います。

3日目は、兵庫県篠山市丸山の古民家再生に取組む一般社団法人ノオトの視察を行なった。

ここでは全戸12軒の小さな集落で、村人が家族のような暮らしをしており、古民家を宿泊施設として集落の人が管理などを行なっていた。

宿泊料は、1泊朝食付税抜1棟ご利用料金40,000円、サービス料1人5,000円であると紹介されていた。

リピーターもあり、経営として採算に合っているとのことでした。

篠山市等における空き家活用事業において、移住した伝統工芸ギャラリーなどを視察してまわった。

今回の視察を終え、今後の串本町の産業振興に役立てまいりたいと思います。



文教厚生常任委員会 県外視察報告

参加者

結城委員長、長脊副委員長、島野委員、川勝委員、
仲江委員、芝山委員、清水委員、平田教育次長、
名田くしもと町立病院事務長、岡田議会事務局書記



串本町議会では、各常任委員会で2年に1度、委員会が所管する事項について調査・研究する県外視察の制度が設けられています。

平成29年度の県外視察では、平成29年11月6日から8日の3日間、文教厚生常任委員会が所管する病院、学校教育について、石川県の城北病院と福井県の織田小学校の視察を行いました。この視察について概略ですがご報告します。

金沢市にある城北病院は、地域住民の出資によって設立された病院で、患者本位の医療を提供している特色のある病院です。「笑って死ねる病院」としてマスコミにも取り上げられていますが、終末期の患者さんの希望を最大限受け入れ人間としての尊厳を全うできるような医療を行っています。例えば、患者さんが最後に一度、家に帰りたい希望があれば、入院した状態で医師・看護師等が付き添って数時間在家で過ごすことが出来たりします。

この病院には第三者と病院関係者による病院探検隊という制度があります。月に一度、病院内を巡回し不適切な所、改善すべき事があればすぐに対応するようにしています。また、生活習慣病や慢性病の患者さんのために「患者会」の組織があり、医師や看護師が患者さんと一緒に活動し、病状の進展や再発の予防に取り組んでいます。

城北病院の視察において、私たち委員会のメンバーが一番感銘を受けたのは、医師・看護師・全ての病院スタッフが患者さんの立場に立って業務に携わっている姿勢でした。地域医療のるべき姿を見せてもらつた思いがします。

この視察で見聞したことが、くしもと町立病院の改善・充実に少しでも繋がるように取り組んでまいります。

越前町にある町立織田小学校は、児童数155名で串本小学校・潮岬小学校と同程度の児童数を持った小学校です。

まず最初に、校長先生・教頭先生から織田小学校の教育方針等について説明を受け、その後、幾つかの学年の授業を参観しました。

授業は、担任教諭と補助教諭の2名で行われていることに驚きました。習熟度に開きのある教科には補助教諭を付けているとのことでしたが、教員配置は越前町ではこれが常態であるとのことです。町長が義務教育へ力を入れているとのことです。

授業は、OTAスタイルという織田小学校独自の授業スタイルを採用しています。これは、「焦点化・共有化・視覚化」の3点を重視したユニバーサルデザインの授業スタイルで、どの子にも分かりやすい授業を行なうことです。一口で授業内容の説明は困難ですが、子供たちの授業への積極的な参加と子供たち同士で問題の共有化を行っている授業風景はとても興味深いものでした。ちなみにOTAとは、O=おもしやる子、T=高めあう子、A=明るく元気な子。という意味で、織田小学校のめざす児童像に位置付けています。地域との連携では、学校ボランティア（現在20名登録）や地域コーディネーター制度を積極的に活用し、地域一丸となって学校教育に取り組んでいます。

福井県は、全国学力テストの成績上位県ですが、織田小学校の視察がそのことを十分理解できるものでした。

今回の視察が、私たち串本町の義務教育のあり方について、委員会として検討を行う契機になると考えております。



議会の動き

《本会議》

9月6日～9月15日 第3回定例会
12月6日～12月15日 第4回定例会

《臨時会》

8月28日 第3回臨時会

《委員会》

【議会運営委員会】
8月29日 第3回定例会の運営について
9月7日 議会改革について
11月30日 第4回定例会の運営について

【常任委員会】
8月17日 文教厚生常任委員会
8月28日 総務産業建設常任委員会
9月6日 文教厚生常任委員会
9月7日 総務産業建設常任委員会
9月14日 総務産業建設常任委員会
9月15日 総務産業建設常任委員会
9月25日 総務産業建設常任委員会
10月3日 文教厚生常任委員会
10月6日 総務産業建設常任委員会
11月6日～8日 文教厚生常任委員会県外視察

11月14日～16日 総務産業建設常任委員会県外視察

11月15日 文教厚生常任委員会
12月6日 総務産業建設常任委員会
12月7日 文教厚生常任委員会
12月14日 文教厚生常任委員会
12月22日 文教厚生常任委員会

【特別委員会】
12月4日 議会広報特別委員会
【全員協議会】
11月17日・12月6日

《研修会》

8月4日 和歌山県町村議會議長会 全議員研修会
10月8日 東牟婁郡町村議會議長会 全議員研修会
11月13日 和歌山県町村議會議長会 委員長・副委員長研修会

議長 公務日誌

(平成29年8月～12月 主なもの)

8月

- 2日 近畿府県町村議会会长会（滋賀県大津市）
- 4日 和歌山県町村議會議長会 全議員研修会
(かつらぎ町総合文化会館)
- 5日 串本祭 総おどり出発式（串本町文化センター）
- 6日 トレス市長送別レセプション（串本ロイヤルホテル）
- 21日 和歌山県町村議會議長会 県知事要望活動
(和歌山県庁 知事室)
- 22日 和歌山県市町村総合事務組合 8月定例会（和歌山市）
- 24日 新宮周辺広域市町村圏事務組合例月監査
(新宮市 新宮公設市場)
- 30日 和歌山県町村議會議長会 議長・副議長研修会
(和歌山市)

9月

- 1日 国道371（紀南地方）改良促進委員会総会（和歌山市）
- 27日 まち・ひと・しごと創生推進会議（串本町役場）
- 18日 東牟婁郡町村議會議長会 全議員研修会
(那智勝浦町 ホテル浦島)

10月

- 26日 全国町村議會議長会 都道府県会長会他（東京都）
- 27日 新宮周辺広域市町村圏事務組合例月監査
(新宮市 新宮公設市場)
- 30日 全国鯨フォーラム2017太地並びに日本遺産
『鯨とともに生きる』シンポジウム前夜祭
(那智勝浦町 ホテル浦島)

11月

- 3日 第13回串本町民大運動会
(串本町総合運動公園多目的グラウンド)
- 5日 第13回串本町民大運動会
(串本町総合運動公園多目的グラウンド)
- 7日 新宮周辺広域市町村圏事務組合議会
(新宮市 新宮公設市場)

11月

- 8日 近畿自動車道紀勢線すさみ・那智勝浦間建設
促進協議会要望活動（東京都）
- 9日
- 12日 東牟婁郡町村議會議長会研修会（北山村）
- 13日 和歌山県町村議會議長会 委員長・副委員長研修会
(和歌山市)

12月

- 19日 地方自治法施行70周年記念式典（東京都）
- 20日 全国町村議會議長会 政党との懇談会（東京都）
- 21日 第61回 全国町村議會議長全国大会（東京都）
- 22日 和歌山県市町村総合事務組合 11月定例会
(和歌山市)
- 23日 2日 社会福祉法人 美熊野福社会30周年記念式典
(那智勝浦町体育文化会館)
- 24日 本州最南端グラウンドゴルフ交歓大会前夜祭
(串本ロイヤルホテル)
- 3日 本州最南端グラウンドゴルフ交歓大会
(串本町総合運動公園)
- 4日 第4回 串本警察署管内防犯少年剣道大会
(串本中学校体育館)
- 20日 トルコ大使歓迎レセプション（串本ロイヤルホテル）
- 新宮周辺広域市町村圏事務組合例月監査
(新宮市 新宮公設市場)
- JETRO わかやま貿易情報センター開所式典及び
開所記念レセプション（和歌山市）

委 委 委 委 副 委 員
委 員 員 員 員 員 長

鈴 佐 芝 仲 清 水 口
木 藤 山 江 健 口
幸 武 定 孝 太 崇
夫 治 史 丸 郎



このメンバーでの広報作成も今回で最後になりました。今回は新人議員も参加しての広報づくりでしたが、役割分担で手分けをしました。今後報づくりが出来ました。今後ともより良い広報が出来るよう各自研鑽して参ります。

編集

後記

